

地域包括支援センター

(おたっしや本舗)



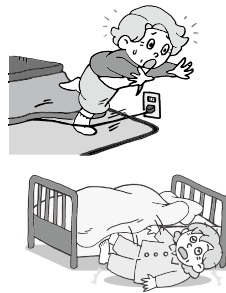
～ 家庭内に潜む事故 ～

家庭内事故の三大死因として「不慮の溺死・溺水」「その他の不慮の窒息」「転倒・転落」があります。厚生労働省の調査によると、高齢者の家庭内での不慮の事故による死亡者数は、交通事故による死亡者よりも多くなっています。

転倒・転落

主な原因

- 階段や廊下でつまづく
- 布団や掃除機のコードなどに足をとられる
- 就寝中、ベッドから降りた際に転倒する



要注意!

高齢者が屋根や脚立に上がった作業中に転落する事故も多くなっています。

階段や段差によるものは打撲症で済むことも多いですが、屋根や脚立など高所からの転落は重大な事故につながり、治療に長期間を要する重いけがになる傾向があるので注意が必要です。



防ぐには?

「手すりの設置や段差の解消など、住みよい環境を整えることが大切です！」

階段、廊下、玄関、浴室などには手すりを設け、暗くなりがちな場所には明るい照明や足元灯をつけましょう。

屋根の上や、脚立・はしごを利用して高所で行う作業はなるべく本職の人や若い人に頼み、一人作業は避けましょう。

不慮の溺死・溺水

主な原因

- 熱い湯によるやけど
- 冬場の温度差と心疾患の関係による突然死
- 湯加減を見に行った際の浴槽への転落や転倒

要注意!

浴室での事故は、無防備な状態が多く、事故が起きても周囲から気づかれにくく、手当てが遅れる可能性が高くなります。



防ぐには?

「長湯をしないようにしましょう」
「浴室の温度を上げましょう」

その他の不慮の窒息

主な原因

- 食べ物や異物がのどに詰まった窒息

防ぐには?

食事の際は、お茶や水を飲んで喉を湿らせながら、少量ずつゆっくりよく噛んで食べましょう。

餅など粘りのある食品を食べる場合は小さく切って食べましょう。



問合せ

- 小城・三日月地区の方 おたっしや本舗小城北 (小城市役所別館: 旧改善センター内) ☎73・2172
- 牛津・芦刈地区の方 おたっしや本舗小城南 (ひまわり内) ☎66・6376
- 小城市役所 高齢障がい支援課 (西館1階) ☎37・6108